

株式会社アイエイアイ ロボットコントローラ
X-SEL シリーズ
X-SEL-K

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

| | |
|---|----|
| 改訂履歴 | 4 |
| 1. 概要 | 5 |
| 2. システム構成 | 5 |
| 3. GOT について | 5 |
| 3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション | 5 |
| 3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定 | 5 |
| 3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定 | 5 |
| 4. ロボットコントローラについて | 6 |
| 4.1 ロボットコントローラの通信設定 | 6 |
| 4.2 ロボットコントローラのパラメータ設定 | 6 |
| 5. 画面仕様 | 7 |
| 5.1 表示言語 | 7 |
| 5.2 画面一覧・遷移 | 7 |
| 5.3 画面説明 | 11 |
| 5.3.1 メニュー (B-30001) | 11 |
| 5.3.2 システムステータス (B-30002) | 12 |
| 5.3.3 軸ステータス (B-30003) | 13 |
| 5.3.4 入力ポートモニタ (B-30004) | 14 |
| 5.3.5 出力ポートモニタ (B-30005) | 15 |
| 5.3.6 フラグモニタ (B-30006) | 16 |
| 5.3.7 ポイントデータ編集 (B-30007) | 17 |
| 5.3.8 プログラム運転 (B-30008) | 18 |
| 5.3.9 グローバル整数変数モニタ (B-30009) | 19 |
| 5.3.10 グローバル実数変数モニタ (B-30010) | 20 |
| 5.3.11 アラーム (B-30011) | 21 |
| 5.3.12 マニュアル表示-言語 1 (B-30500)、言語 2 (B-30501)、言語 3 (B-30502) | 22 |
| 5.3.13 アラームリセット (W-30001) | 24 |
| 5.3.14 言語設定 (W-30002) | 25 |
| 5.3.15 時計設定 (W-30003) | 26 |
| 5.3.16 入力ポート 1～入力ポート 7 (W-30010～W-30016) | 27 |
| 5.3.17 出力ポート 1～出力ポート 7 (W-30018～W-30024) | 28 |
| 5.3.18 フラグ 1～フラグ 3 (W-30025～W-30027) | 29 |
| 5.3.19 書込み確認ウィンドウ (W-30028) | 30 |
| 5.3.20 ROM 書込み確認ウィンドウ (W-30029) | 31 |
| 5.3.21 プログラム運転 1～プログラム運転 7 (W-30030～W-30036) | 32 |
| 5.4 使用デバイス一覧 | 33 |
| 5.5 コメント一覧 | 35 |
| 5.6 デバイスデータ転送一覧 | 36 |
| 5.7 スクリプト一覧 | 40 |
| 6. マニュアル表示について | 47 |
| 6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備 | 47 |
| 6.2 ドキュメントの総ページ数の変更 | 48 |
| 6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定 | 50 |
| 7. テンプレート | 51 |

改訂履歴

サンプル画面説明書

| 改訂日付 | 管理番号* | 改訂内容 |
|--------|----------------|------|
| 2014/8 | BCN-P5999-0412 | 初版 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

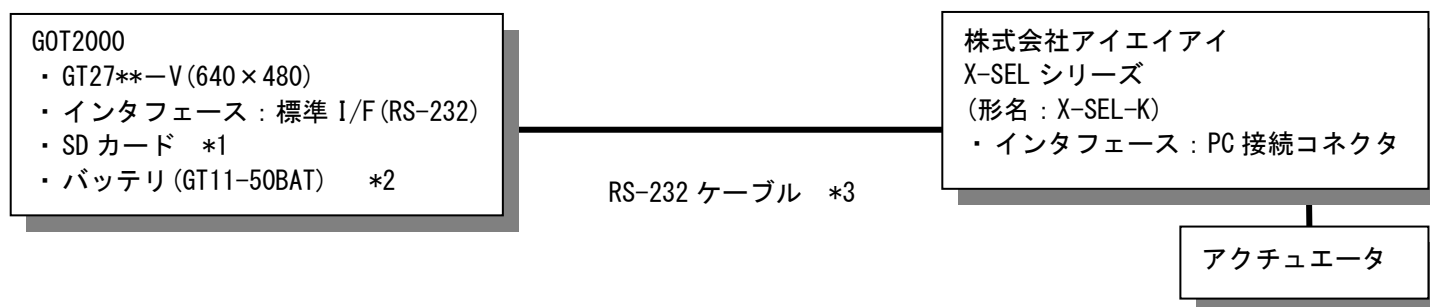
| 改訂日付 | プロジェクトデータ | GT Designer3* | 改訂内容 |
|--------|-------------------------|---------------|------|
| 2014/8 | IAI_X-SEL_V_Ver1_J. GTX | 1.117X | 初版 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 と株式会社アイエイアイ X-SEL (X-SEL-K) をシリアル (RS-232) で接続し、ロボットコントローラのシステムステータスや軸ステータスのモニタ、ポイントデータの変更などを行うサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1 : SD カードは、ドキュメント表示機能で使用しています。

*2 : バッテリは、時計データおよび SRAM ユーザ領域のアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリは GOT 本体に標準装備しています。)

*3 : ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 1)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

| 種類 | システムアプリケーションの名称 | | |
|----------|-----------------|------|----------|
| 基本機能 | 基本システムアプリケーション | | |
| | 標準フォント | 日本語 | |
| 通信ドライバ | アイエイアイ X-SEL | | |
| 拡張機能 | 標準フォント | ゴシック | 中国語(簡体) |
| | アウトラインフォント | | 英数かな |
| | | | 日本語漢字 |
| | | | 中国(簡体)漢字 |
| | デバイスデータ転送 | | |
| ドキュメント表示 | | | |

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---------------|-------|------------------------|
| ボーレート (BPS) | 38400 | |
| データ長 | 8 bit | |
| ストップビット | 1 bit | |
| パリティ | なし | |
| リトライ回数(回) | 3 | |
| 通信タイムアウト時間(秒) | 3 | |
| 自局アドレス | 153 | ロボットコントローラの局コードを設定します。 |
| 送信ディレイ時間(ms) | 0 | |

3.3 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

4. ロボットコントローラについて

4.1 ロボットコントローラの通信設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|------------|----------|---------------|
| 通信速度 (bps) | 3.84kbps | パラメータで変更可能です。 |
| ビット長 | 8 bit | パラメータで変更可能です。 |
| ストップビット | 1 bit | パラメータで変更可能です。 |
| パリティ | なし | パラメータで変更可能です。 |
| 局コード | 153 | パラメータで変更可能です。 |

4.2 ロボットコントローラのパラメータ設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。(K タイプのパラメータで記載しています。)

(1) パラメータの設定 *1

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---|------|-----------------------|
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 使用方法 (AUTO モード時) | 2 | 2: IAI プロトコル B (スレーブ) |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 局コード | 153 | |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 ボーレート種別 | 2 | 2: 38.4kbps |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 データ長 | 8 | |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 ストップビット長 | 1 | |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 パリティ種別 | 0 | |
| ユーザー開放 SIO チャンネル 1 IAI プロトコルレスポンス最少遅延時間 | 0 | |
| その他設定ビットパターン 1 | 200F | Bit0~3 = 1 (固定) |

*1 : K タイプ以外の詳細については、ご使用のロボットコントローラのマニュアルを参照してください。

(2) ロボットコントローラのスイッチ設定

| 項目 | 設定値 | 備考 |
|---------|------|-------------------|
| モードスイッチ | AUTO | オルタネートスイッチにて設定 *1 |

*1 : K タイプ以外の詳細については、ご使用のロボットコントローラのマニュアルを参照してください。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 498~500 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

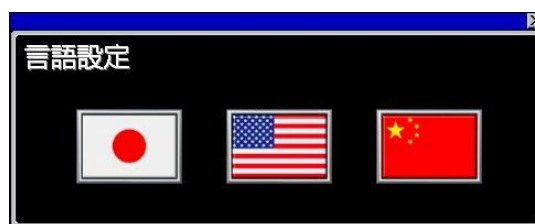
| 列 No. | 言語 |
|-------|---------|
| 1 | 日本語 |
| 2 | 英語 |
| 3 | 中国語(簡体) |

5.2 画面一覧・遷移

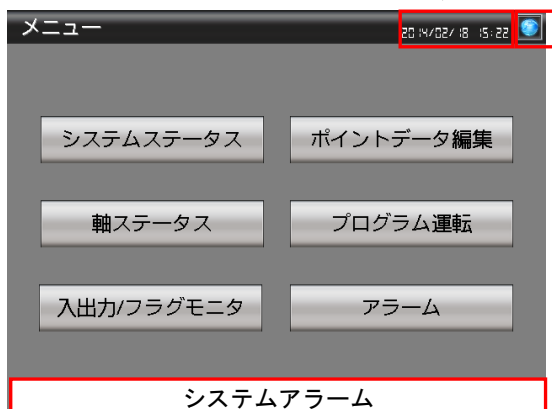
5.2.1 画面一覧・遷移(共通)



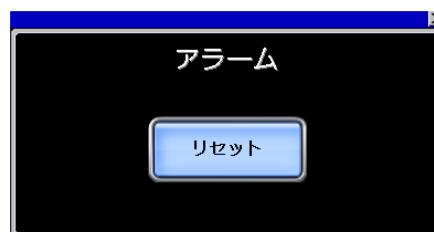
ウィンドウ画面 W-30003 : 時計設定



ウィンドウ画面 W-30002 : 言語設定



ベース画面 B-30001 : メニュー他全ベース画面

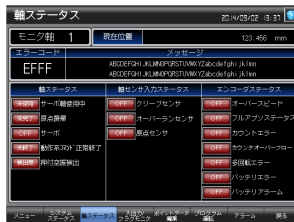


ウィンドウ画面 W-30001 : アラームリセット

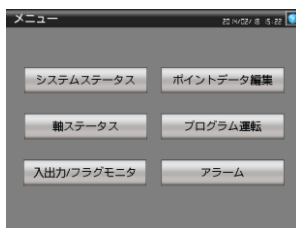
5.2.2 画面一覧・遷移(個別)



ベース画面 B-30002：システムステータス



ベース画面 B-30003 : 軸ステータス



ベース画面 B-30001 : メニュー



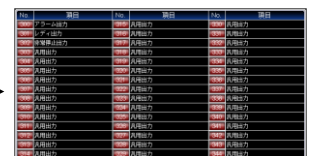
ベース画面 B-30004 :
入力ポートモニタ



ウィンドウ画面 W-30010~16 :
入力ポート 1~7



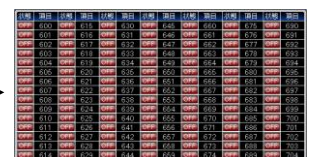
ベース画面 B-30005 :
出力ポートモニタ



ウィンドウ画面 W-30018~24 :
出力ポート 1~7



ベース画面 B-30006 :
フラグモニタ

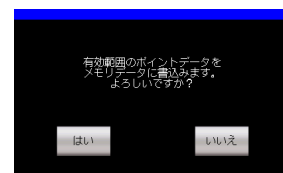


ウィンドウ画面 W-30025～27 :
フラグ 1～3

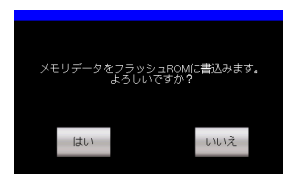
次項へ

前項より

ベース画面 B-30007 :
ポイントデータ編集



ウィンドウ画面 W-30028 :
書き込み確認ウィンドウ



ウィンドウ画面 W-30029 :
ROM 書き込み確認ウィンドウ

ベース画面 B-30008 :
プログラム運転

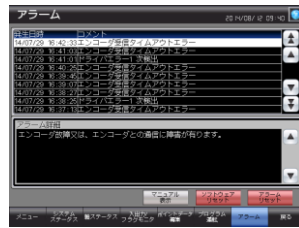
ウィンドウ画面 W-30030~36 :
プログラム運転 1~7

ベース画面 B-30009 :
グローバル整数変数モニタ

ベース画面 B-30010 :
グローバル実数変数モニタ

次項へ

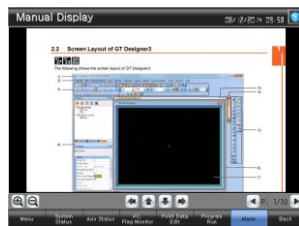
前項より



ベース画面 B-30011 : アラーム



ベース画面 B-30500 :
マニュアル表示-言語 1



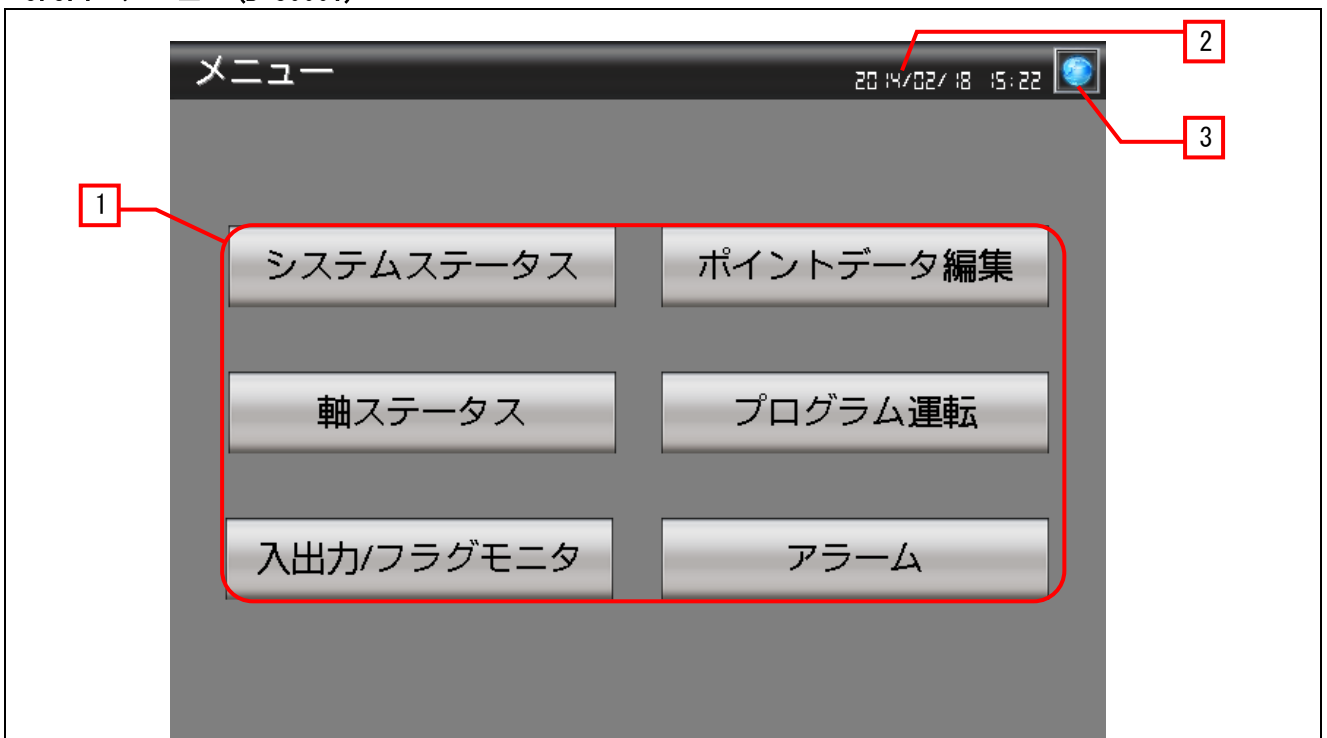
ベース画面 B-30501 :
マニュアル表示-言語 2



ベース画面 B-30502 :
マニュアル表示-言語 3

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

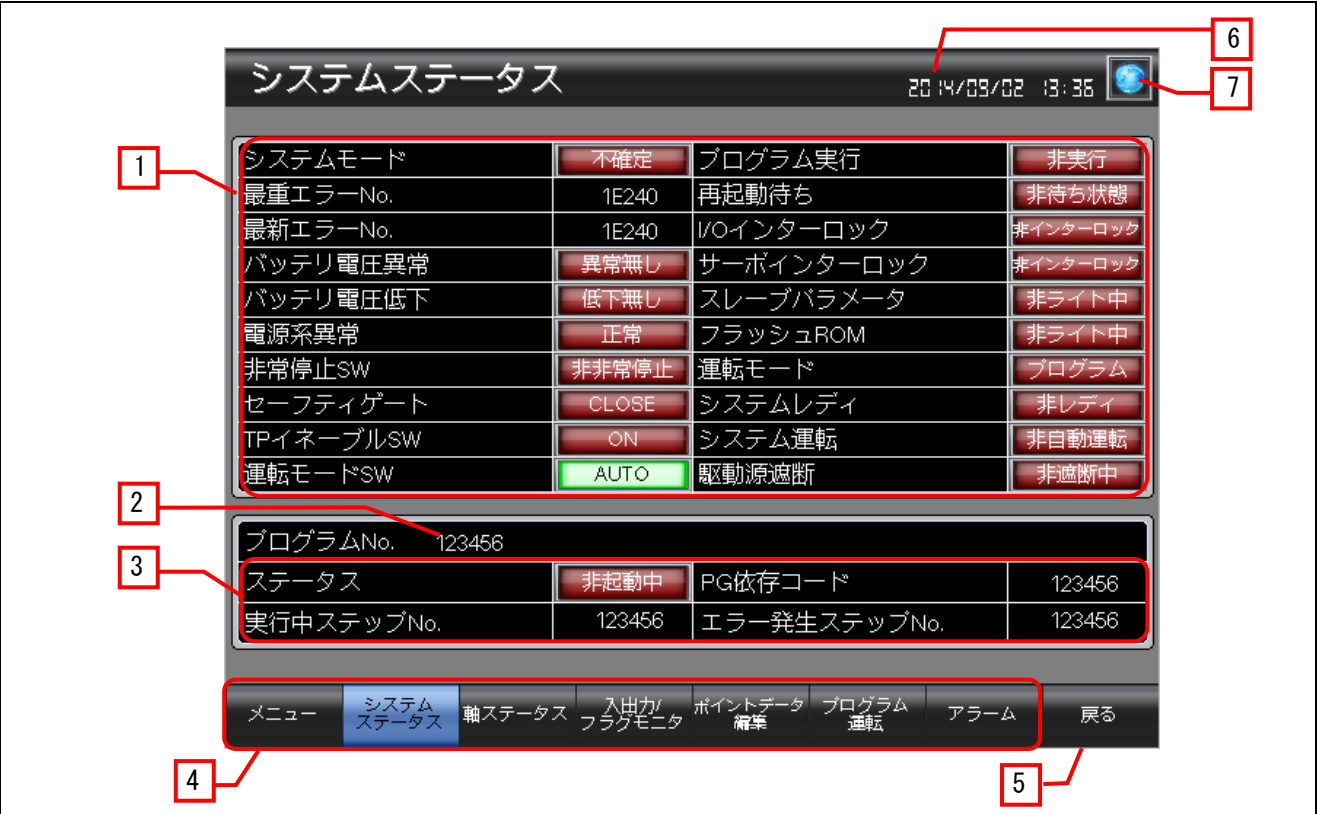
詳細

1. 各画面に切り換えます。
2. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
3. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 システムステータス (B-30002)



概要

ロボットコントローラのシステムステータスとプログラムステータスを表示します。

詳細

1. システムステータスを表示します。
2. モニタするプログラム No. を設定します。
3. プログラムステータスを表示します。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてプログラム No. に「1」を設定しています。また、画面スクリプトにてオフセット処理を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 軸ステータス (B-30003)



概要

ロボットコントローラの軸ステータスを表示します。

詳細

1. モニタする軸を設定します。
2. モニタ軸で発生している軸エラーの内容を表示します。
3. モニタ軸の軸ステータスを表示します。
4. モニタ軸に接続されているアクチュエータの現在位置を表示します。
5. モニタ軸の軸センサ入力ステータスを表示します。
6. モニタ軸のエンコーダステータスを表示します。
7. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてモニタ軸に「1」を設定しています。また、画面スクリプトにてオフセット処理を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ デバイスデータ転送機能と画面スクリプトにて軸エラーの制御を行っています。デバイスデータ転送機能の詳細については「5.6 デバイスデータ転送一覧」、スクリプトの詳細については「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わりします。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 入力ポートモニタ (B-30004)



概要

ロボットコントローラの入力ポートの状態を表示します。

詳細

1. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
2. 入力ポートの状態を表示します。
3. モニタする入力ポート No. を切り換えます。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・プロジェクトスクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの消去を行っています。また、画面スクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの表示を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 出力ポートモニタ (B-30005)



概要

ロボットコントローラの出力ポートの状態を表示します。

詳細

1. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
2. 出力ポートの状態を表示します。
3. モニタする出力ポート No. を切り換えます。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・プロジェクトスクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの消去を行っています。また、画面スクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの表示を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 フラグモニタ (B-30006)



概要

ロボットコントローラのフラグの状態を表示します。

詳細

1. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
2. フラグの状態を表示します。
3. モニタするフラグ No. を切り換えます。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ プロジェクトスクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの消去を行っています。また、画面スクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの表示を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 ポイントデータ編集(B-30007)



概要

ロボットコントローラのポイントデータを表示、編集します。

詳細

- ポイントデータを編集します。ポイントデータが存在せず、数値の色がグレーの箇所は編集できません。
- ポイントデータの読出し開始ポイント No. を設定します。
- ポイントデータを 12 ポイント毎に切り換えます。
- ポイントデータを操作します。
 - 読出し : 開始ポイント No. で設定された値から 12 ポイント分のデータを読出します。
 - 書込み : ポイントデータを X-SEL のメモリデータに書込みます。
実行時に確認ダイアログを表示します。
 - ROM 書込み : メモリデータを X-SEL のフラッシュ ROM に書込みます。
実行時に確認ダイアログを表示します。
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- 読み出せる範囲は最大 3000 点ですが、開始ポイント No. で設定できる範囲は No. 1～No. 2989 です。
- ポイントデータ編集後に書込みを行わない状態でポイントデータの切り換えや画面切り換えを行った場合、ポイントデータを再読出しするため、編集した値は保持されません。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにて開始ポイント No. に「1」を設定しています。画面スクリプトにてポイントデータの読出し、軸パターンの設定を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 プログラム運転(B-30008)



概要

ロボットコントローラのプログラムを操作します。

詳細

1. 各軸のサーボの ON/OFF 状態を表示します。サーボ ON/OFF 状態の切り換えもできます。
2. プログラムを操作します。詳細は「5.3.21 プログラム運転 1～プログラム運転 7」を参照してください。
3. システムレディの状態を表示します。
4. 各画面に切り換えます。
5. 表示しているプログラム運転画面のページを操作します。

1/7

: 表示しているプログラム運転画面のページ数を表示します。
数値をタッチするとページ番号を変更できます。

◀ ▶

: 表示しているプログラム運転画面を切り換えます。
6. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・プロジェクトスクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの消去を行っています。また、画面スクリプトにてスーパーインポーズウィンドウの表示を行っています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.9 グローバル整数変数モニタ (B-30009)



概要

ロボットコントローラのグローバル整数変数を表示、編集します。

詳細

1. グローバル整数変数を表示します。数値をタッチすると値を変更できます。
2. 各画面に切り換えます。
3. モニタするグローバル整数変数の範囲を切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 10 グローバル実数変数モニタ (B-30010)



概要

ロボットコントローラのグローバル実数変数を表示、編集します。

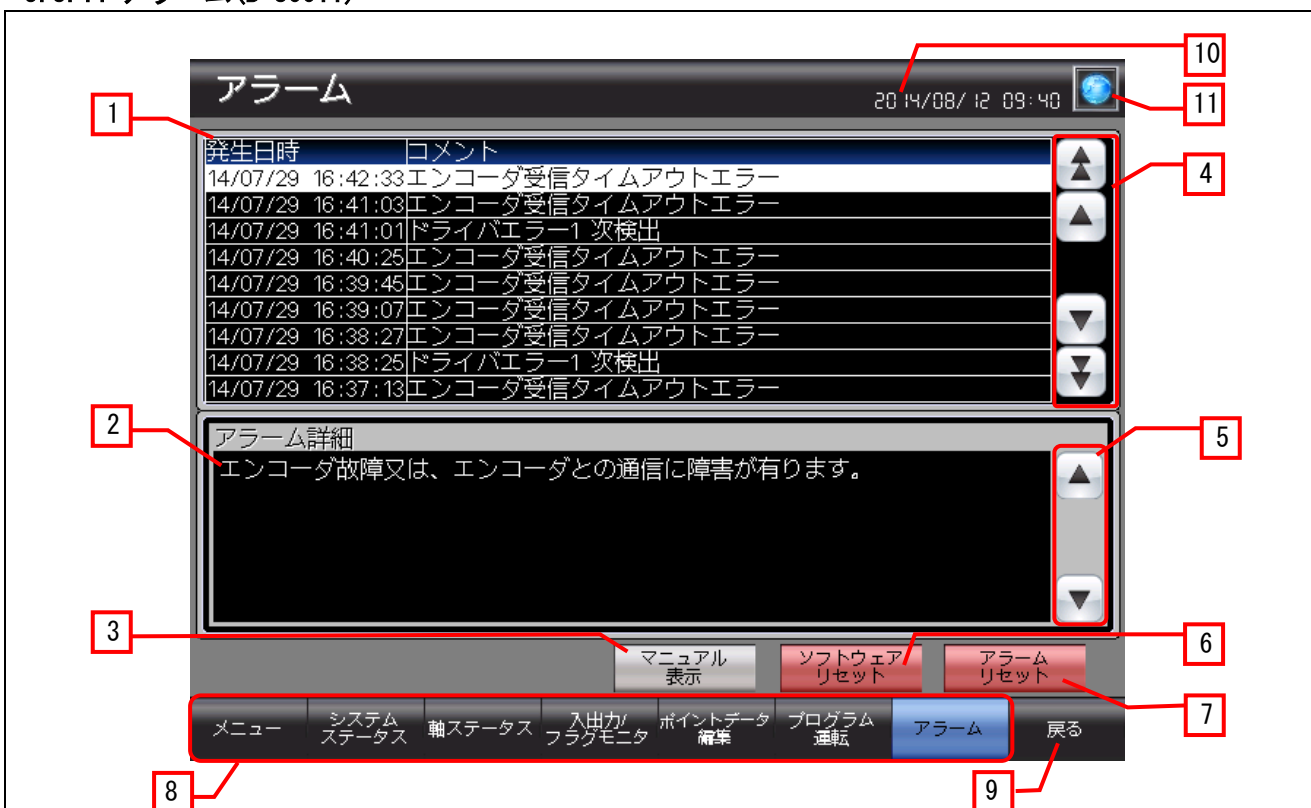
詳細

1. グローバル実数変数を表示します。数値をタッチすると値を変更できます。
2. 各画面に切り換えます。
3. モニタするグローバル実数変数の範囲を切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.11 アラーム (B-30011)



概要

ロボットコントローラの最新システムエラーを表示します。

詳細

1. アラームを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
2. アラーム詳細を表示します。
3. マニュアル表示画面に切り換えます。
4. アラームを操作します。
 : 上下にページスクロールします。
 : 上下に1行ずつスクロールします。
5. アラーム詳細を操作します。
 : 上下に1行ずつスクロールします。
6. ソフトウェアリセットをします。3秒長押ししてください。
7. アラームリセットをします。3秒長押ししてください。
8. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。






5. 3. 12 マニュアル表示-言語 1 (B-30500)、言語 2 (B-30501)、言語 3 (B-30502)



概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示-言語 1 (B-30500)～言語 3 (B-30502)は、それぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチアウト・ピンチインすると、大・中・小の3段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
 : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
 : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
 : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
 : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

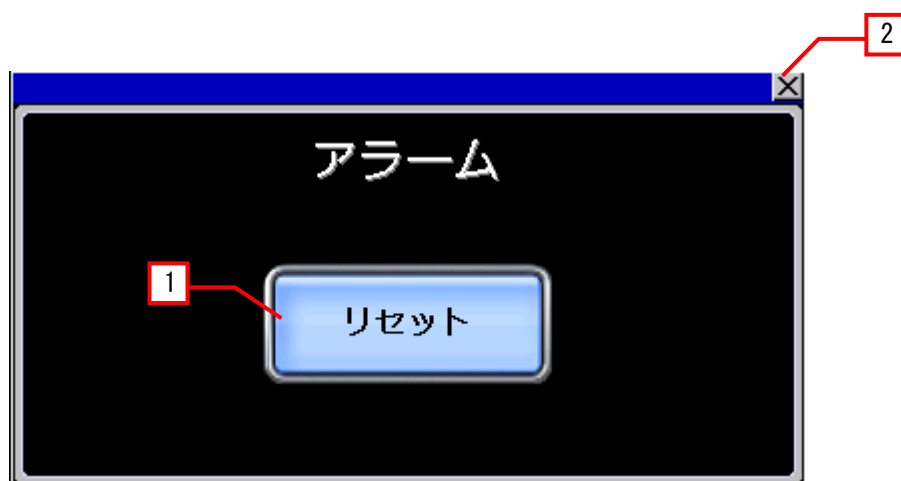
備考

- ・ マニュアルの言語は、マニュアル用に作成するドキュメントの言語となります。マニュアル以外のタイトルやスイッチ銘板の言語は、コメントグループ No. 498～500 の列 No. 1～3 に設定されているコメントの言語となります。ドキュメント (ドキュメント ID) とコメントグループ No. 498～500 の列 No. の関係は下表となります。

| ベース画面 | ドキュメント ID | 列 No. |
|------------------------|-----------|-------|
| マニュアル表示-言語 1 (B-30500) | 201 | 1 |
| マニュアル表示-言語 2 (B-30501) | 202 | 2 |
| マニュアル表示-言語 3 (B-30502) | 203 | 3 |

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No. に「1」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6. マニュアル表示について」を参照してください。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5. 3. 13 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5. 3. 14 言語設定 (W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。
- ・ マニュアル表示-言語 1～言語 3 のいずれかのベース画面を表示中に言語設定ウィンドウで言語を切り換えた場合、選択した言語に対応したマニュアル表示画面に切り換わるように画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。

5. 3. 15 時計設定 (W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を スイッチで設定します。 スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.7 スクリプト一覧」を参照してください。

5. 3. 16 入力ポート 1～入力ポート 7 (W-30010～W-30016)

1

| No. | 項目 | No. | 項目 | No. | 項目 |
|-----|-------------------|-----|------|-----|------|
| 000 | プログラムスタート | 015 | 汎用入力 | 030 | 汎用入力 |
| 001 | 汎用入力 | 016 | 汎用入力 | 031 | 汎用入力 |
| 002 | 汎用入力 | 017 | 汎用入力 | 032 | 汎用入力 |
| 003 | 汎用入力 | 018 | 汎用入力 | 033 | 汎用入力 |
| 004 | 汎用入力 | 019 | 汎用入力 | 034 | 汎用入力 |
| 005 | 汎用入力 | 020 | 汎用入力 | 035 | 汎用入力 |
| 006 | 汎用入力 | 021 | 汎用入力 | 036 | 汎用入力 |
| 007 | プログラム指定(PRGNo.1) | 022 | 汎用入力 | 037 | 汎用入力 |
| 008 | プログラム指定(PRGNo.2) | 023 | 汎用入力 | 038 | 汎用入力 |
| 009 | プログラム指定(PRGNo.4) | 024 | 汎用入力 | 039 | 汎用入力 |
| 010 | プログラム指定(PRGNo.8) | 025 | 汎用入力 | 040 | 汎用入力 |
| 011 | プログラム指定(PRGNo.10) | 026 | 汎用入力 | 041 | 汎用入力 |
| 012 | プログラム指定(PRGNo.20) | 027 | 汎用入力 | 042 | 汎用入力 |
| 013 | プログラム指定(PRGNo.40) | 028 | 汎用入力 | 043 | 汎用入力 |
| 014 | 汎用入力 | 029 | 汎用入力 | 044 | 汎用入力 |

概要

ロボットコントローラの入力ポートの状態を表示します。

詳細

1. 入力ポートの状態を表示します。

備考

- ・ 入力ポートモニタ (B-30004) で使用する画面です。

5. 3. 17 出力ポート 1～出力ポート 7 (W-30018～W-30024)

1

| No. | 項目 | No. | 項目 | No. | 項目 |
|-----|--------|-----|------|-----|------|
| 300 | アラーム出力 | 315 | 汎用出力 | 330 | 汎用出力 |
| 301 | レディ出力 | 316 | 汎用出力 | 331 | 汎用出力 |
| 302 | 非常停止出力 | 317 | 汎用出力 | 332 | 汎用出力 |
| 303 | 汎用出力 | 318 | 汎用出力 | 333 | 汎用出力 |
| 304 | 汎用出力 | 319 | 汎用出力 | 334 | 汎用出力 |
| 305 | 汎用出力 | 320 | 汎用出力 | 335 | 汎用出力 |
| 306 | 汎用出力 | 321 | 汎用出力 | 336 | 汎用出力 |
| 307 | 汎用出力 | 322 | 汎用出力 | 337 | 汎用出力 |
| 308 | 汎用出力 | 323 | 汎用出力 | 338 | 汎用出力 |
| 309 | 汎用出力 | 324 | 汎用出力 | 339 | 汎用出力 |
| 310 | 汎用出力 | 325 | 汎用出力 | 340 | 汎用出力 |
| 311 | 汎用出力 | 326 | 汎用出力 | 341 | 汎用出力 |
| 312 | 汎用出力 | 327 | 汎用出力 | 342 | 汎用出力 |
| 313 | 汎用出力 | 328 | 汎用出力 | 343 | 汎用出力 |
| 314 | 汎用出力 | 329 | 汎用出力 | 344 | 汎用出力 |

概要

ロボットコントローラの出力ポートの状態を表示します。

詳細

1. 出力ポートの状態を表示します。

備考

- ・ 出力ポートモニタ (B-30005) で使用する画面です。

5. 3. 18 フラグ 1～フラグ 3 (W-30025～W-30027)

1

| 状態 | 項目 | 状態 | 項目 | 状態 | 項目 | 状態 | 項目 | 状態 | 項目 | 状態 | 項目 | 状態 | 項目 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| OFF | 600 | OFF | 615 | OFF | 630 | OFF | 645 | OFF | 660 | OFF | 675 | OFF | 690 |
| OFF | 601 | OFF | 616 | OFF | 631 | OFF | 646 | OFF | 661 | OFF | 676 | OFF | 691 |
| OFF | 602 | OFF | 617 | OFF | 632 | OFF | 647 | OFF | 662 | OFF | 677 | OFF | 692 |
| OFF | 603 | OFF | 618 | OFF | 633 | OFF | 648 | OFF | 663 | OFF | 678 | OFF | 693 |
| OFF | 604 | OFF | 619 | OFF | 634 | OFF | 649 | OFF | 664 | OFF | 679 | OFF | 694 |
| OFF | 605 | OFF | 620 | OFF | 635 | OFF | 650 | OFF | 665 | OFF | 680 | OFF | 695 |
| OFF | 606 | OFF | 621 | OFF | 636 | OFF | 651 | OFF | 666 | OFF | 681 | OFF | 696 |
| OFF | 607 | OFF | 622 | OFF | 637 | OFF | 652 | OFF | 667 | OFF | 682 | OFF | 697 |
| OFF | 608 | OFF | 623 | OFF | 638 | OFF | 653 | OFF | 668 | OFF | 683 | OFF | 698 |
| OFF | 609 | OFF | 624 | OFF | 639 | OFF | 654 | OFF | 669 | OFF | 684 | OFF | 699 |
| OFF | 610 | OFF | 625 | OFF | 640 | OFF | 655 | OFF | 670 | OFF | 685 | OFF | 700 |
| OFF | 611 | OFF | 626 | OFF | 641 | OFF | 656 | OFF | 671 | OFF | 686 | OFF | 701 |
| OFF | 612 | OFF | 627 | OFF | 642 | OFF | 657 | OFF | 672 | OFF | 687 | OFF | 702 |
| OFF | 613 | OFF | 628 | OFF | 643 | OFF | 658 | OFF | 673 | OFF | 688 | OFF | 703 |
| OFF | 614 | OFF | 629 | OFF | 644 | OFF | 659 | OFF | 674 | OFF | 689 | OFF | 704 |

概要

ロボットコントローラのフラグの状態を表示します。

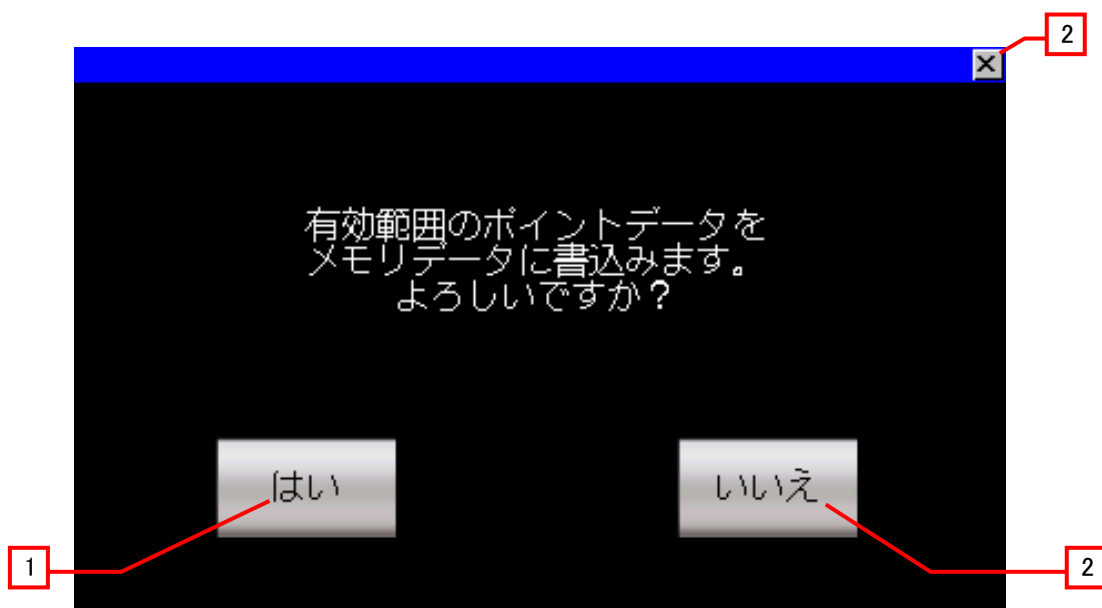
詳細

1. フラグの状態を表示します。

備考

- ・フラグモニタ (B-30006) で使用する画面です。

5. 3. 19 書込み確認ウィンドウ (W-30028)



概要

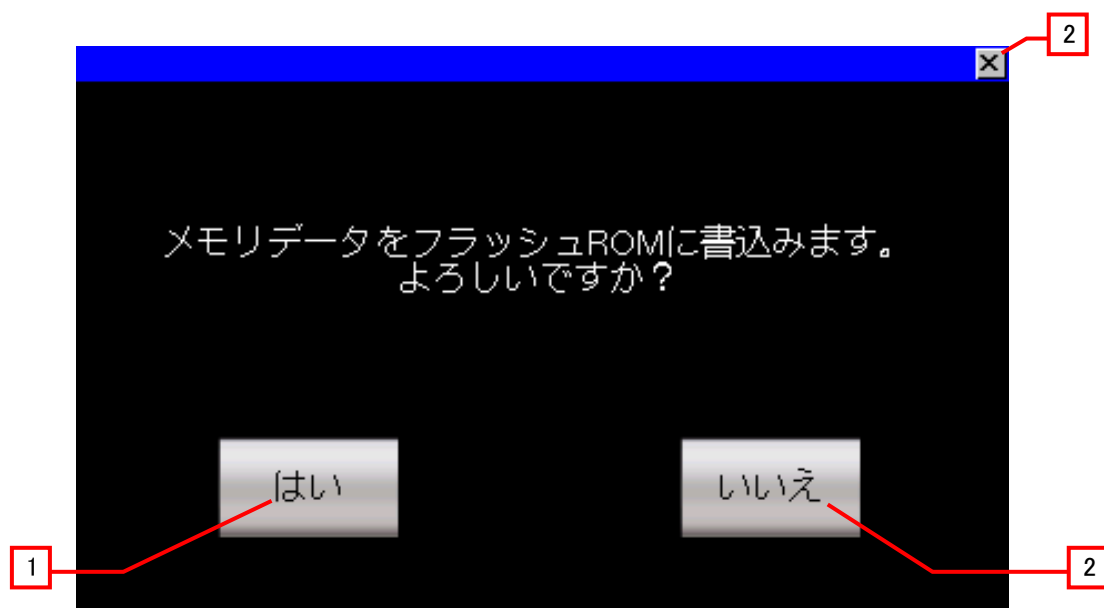
ポイントデータをメモリデータに書込む際に確認をします。

詳細

1. ポイントデータに設定されている値をメモリデータに書込みます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5. 3. 20 ROM 書込み確認ウィンドウ (W-30029)



概要

メモリデータをフラッシュ ROM に書込む際に確認をします。

詳細

1. メモリデータの値をフラッシュ ROM に書込みます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5. 3. 21 プログラム運転 1～プログラム運転 7 (W-30030～W-30036)

1

| | | | | | |
|------------|----|----|------------|----|----|
| プログラムNo.1 | 実行 | 終了 | プログラムNo.11 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.2 | 実行 | 終了 | プログラムNo.12 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.3 | 実行 | 終了 | プログラムNo.13 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.4 | 実行 | 終了 | プログラムNo.14 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.5 | 実行 | 終了 | プログラムNo.15 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.6 | 実行 | 終了 | プログラムNo.16 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.7 | 実行 | 終了 | プログラムNo.17 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.8 | 実行 | 終了 | プログラムNo.18 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.9 | 実行 | 終了 | プログラムNo.19 | 実行 | 終了 |
| プログラムNo.10 | 実行 | 終了 | プログラムNo.20 | 実行 | 終了 |

概要

ロボットコントローラのプログラムを操作します。

詳細

1. プログラムを実行/終了します。

備考

・ プログラム運転 (B-30008) で使用する画面です。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|-----|---|---------------------------------|
| ビット | IP000～IP299 | 入力ポート |
| | OP300～OP599 | 出力ポート |
| | FG000:600～FG000:899 | フラグ |
| ワード | AXST0+6n (n=0～3) | 軸ステータス (1 軸～4 軸) |
| | AXST1+6n (n=0～3) | 軸センサ入力ステータス (1 軸～4 軸) |
| | AXST3+6n (n=0～3) | エンコーダステータス (1 軸～4 軸) |
| | AXST4+6n (n=0～3) | 現在位置 (L) (1 軸～4 軸) |
| | AXST5+6n (n=0～3) | 現在位置 (H) (1 軸～4 軸) |
| | PGST0+4n (n=0～127) | プログラムステータス |
| | PGST1+4n (n=0～127) | 実行中プログラムステップ No. |
| | PGST2+4n (n=0～127) | プログラム依存エラーコード |
| | PGST3+4n (n=0～127) | エラー発生ステップ No. |
| | SYST0 | システムモード |
| | SYST1 | 最重レベルシステムエラー No. |
| | SYST2 | 最新システムエラー No. |
| | SYST3 | システムステータスバイト 1 |
| | SYST4 | システムステータスバイト 2 |
| | SYST5 | システムステータスバイト 3 |
| | PRG001～PRG128 | プログラム操作 |
| | ARO | アラームリセット |
| | SRO | ソフトウェアリセット |
| | FRW0 | フラッシュ ROM データ書込 |
| | SV0 | サーボデバイスコマンドトリガ |
| | SV1 | サーボデバイス軸パターン |
| | SV2 | サーボオン/オフ制御 |
| | INT000:200～INT000:299、 INT000:1200～INT000:1299 | グローバル整数変数 |
| | RL000:300～RL000:399、 RL000:1300～RL000:1399 | グローバル実数変数 |
| | ER001:000:00 | 最新エラー：システムエラー No. |
| | ER101:000:00 | 軸エラー No. (1 軸) |
| | ER102:000:00 | 軸エラー No. (2 軸) |
| | ER103:000:00 | 軸エラー No. (3 軸) |
| | ER104:000:00 | 軸エラー No. (4 軸) |
| | ER101:000:0A | メッセージ (1 軸) |
| | ER102:000:0A | メッセージ (2 軸) |
| | ER103:000:0A | メッセージ (3 軸) |
| | ER104:000:0A | メッセージ (4 軸) |
| | PD00 | ポイントデータデバイスコマンドトリガ |
| | PD01 | 開始ポイント No. |
| | PD02 | ポイントデータ数 |
| | PD03+13n (n=0～11) | ポイント No. (ポイントデータ 1～ポイントデータ 12) |
| | PD04+13n (n=0～11) | 軸パターン (ポイントデータ 1～ポイントデータ 12) |
| | PD05+13n (n=0～11) | 加速度 (ポイントデータ 1～ポイントデータ 12) |
| | PD06+13n (n=0～11) | 減速度 (ポイントデータ 1～ポイントデータ 12) |
| | PD07+13n (n=0～11) | 速度 (ポイントデータ 1～ポイントデータ 12) |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|-----|-------------------|---------------------------------|
| ワード | PD08+13n (n=0~11) | 1 軸位置データ (ポイントデータ 1~ポイントデータ 12) |
| | PD09+13n (n=0~11) | 2 軸位置データ (ポイントデータ 1~ポイントデータ 12) |
| | PD0A+13n (n=0~11) | 3 軸位置データ (ポイントデータ 1~ポイントデータ 12) |
| | PD0B+13n (n=0~11) | 4 軸位置データ (ポイントデータ 1~ポイントデータ 12) |

5.4.2 GOT の内部デバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|-----|------------------------|-------------------------------|
| ビット | GB40 | スクリプトトリガ |
| | GB41 | デバイスデータ転送リセット |
| | GB61150 | スクリプト No. 30104 起動トリガ |
| | GB61153 | スクリプト No. 30107 起動トリガ |
| | GB61250 | 書き込み完了デバイス |
| | GD60031. b13 | GOT エラーリセット信号 |
| | GD61015+2n. b0 (n=0~3) | デバイスデータ転送トリガ (1 軸~4 軸) |
| | GD61016+2n. b0 (n=0~3) | デバイスデータ転送外部通知デバイス (1 軸~4 軸) |
| | GD61205+n. b3 (n=0~3) | サーボ ON/OFF 状態格納デバイス (1 軸~4 軸) |
| | GS512. b0 | 時刻変更信号 |
| ワード | GD60000 | ベース画面切り換え |
| | GD60001 | オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え |
| | GD60004 | オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え |
| | GD60016 | スーパーインポーズウィンドウ 1 画面切り換え |
| | GD60021 | 言語切り換え |
| | GD60022 | システム言語切り換え |
| | GD60031、GD60041 | システム情報 |
| | GD60080~GD60082 | ドキュメント表示、ページ番号、前頁スイッチ、次頁スイッチ |
| | GD61000 | プログラム No. 指定デバイス |
| | GD61001 | プログラム No. オフセットデバイス |
| | GD61010 | モニタ軸指定デバイス |
| | GD61011 | モニタ軸オフセットデバイス |
| | GD61012 | 軸エラー用オフセットデバイス |
| | GD61015~GD61022 | 軸エラー用デバイスデータ転送トリガ |
| | GD61040 | 最新システムエラーNo. 格納デバイス |
| | GD61045 | 現在位置 (L) 格納デバイス |
| | GD61046 | 現在位置 (H) 格納デバイス |
| | GD61050~GD61089 | 最新システムエラーメッセージ格納デバイス |
| | GD61100 | PD エリアクリア用デバイス |
| | GD61200 | プログラム運転モニタ切り換えデバイス |
| | GD61205~GD61208 | サーボ ON/OFF 状態格納デバイス |
| | GD61250 | 整数変数デバイス用オフセットデバイス |
| | GD61300 | 実数変数デバイス用オフセットデバイス |
| | GD61350 | アラーム詳細表示デバイス |
| | GD61355 | 表示行指定デバイス |
| | GD63990~GD63995 | 時計のデジスイッチ |
| | GS513~GS516 | 変更時刻 |
| | GS650~GS652 | 現在時刻 |
| | TMP0950~TMP0996 | スクリプト演算用 |

5.5 コメント一覧

| コメントグループ No. | コメント No. | 使用箇所 |
|--------------|---------------|---------------|
| 498 | No. 519～4095 | B-30011 |
| 499 | No. 519～4095 | B-30011 |
| 500 | No. 1 | B-30001～30502 |
| | No. 2～7 | B-30001 |
| | No. 8～14 | B-30002～30502 |
| | No. 51～113 | B-30002 |
| | No. 151～188 | B-30003 |
| | No. 201～203 | B-30004 |
| | No. 251～261 | W-30010～30016 |
| | No. 301～303 | B-30005 |
| | No. 351～356 | W-30018～30024 |
| | No. 401～403 | B-30006 |
| | No. 451～452 | W-30025～30027 |
| | No. 501～515 | B-30007 |
| | No. 551～559 | B-30008 |
| | No. 601～730 | W-30030～30036 |
| | No. 751～774 | B-30009 |
| | No. 801～824 | B-30010 |
| | No. 851～857 | B-30010 |
| | No. 901 | B-30500～30502 |
| | No. 951～953 | W-30028 |
| | No. 1001～1003 | W-30029 |
| | No. 1051～1052 | W-30001 |
| | No. 1101 | W-30002 |
| | No. 1151～1159 | W-30003 |

5.6 デバイスデータ転送一覧

ID : 201 データ転送 1

| 項 目 | | 設 定 |
|--------------|---|--------------|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD61015 |
| | トリガデバイス | GD61015. b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD61015. b1 |
| 外部通知情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部通知 デバイス | GD61016 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD61016. b0 |
| | BCD 変換エラー通知信号 | GD61016. b14 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD61016. b15 |
| デバイス | ブロック数 | 3 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 20 |
| | 転送元デバイス | ER101:000:0A |
| | 転送先デバイス | GD61050 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | ER101:000:00 |
| | 転送先デバイス | GD61040 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD61015. b0 |
| | オフセット | なし |

ID : 202 データ転送 2

| 項 目 | | 設 定 |
|--------------|-----------|-------------|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD61017 |
| | トリガデバイス | GD61017. b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD61017. b1 |

| 項 目 | | 設 定 |
|--------|--|--------------|
| 外部通知情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス | GD61018 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD61018. b0 |
| | BCD 変換エラー通知信号 | GD61018. b14 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD61018. b15 |
| デバイス | ブロック数 | 3 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 20 |
| | 転送元デバイス | ER102:000:0A |
| | 転送先デバイス | GD61050 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | ER102:000:00 |
| | 転送先デバイス | GD61040 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD61017. b0 |
| | オフセット | なし |

ID : 203 データ転送 3

| 項 目 | | 設 定 |
|--------------|--|--------------|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD61019 |
| | トリガデバイス | GD61019. b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD61019. b1 |
| 外部通知情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部通知デバイス | GD61020 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD61020. b0 |
| | BCD 変換エラー通知信号 | GD61020. b14 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD61020. b15 |
| デバイス | ブロック数 | 3 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |

| 項 目 | | 設 定 |
|--------|---------|--------------|
| ブロック 1 | 点数 | 20 |
| | 転送元デバイス | ER103:000:0A |
| | 転送先デバイス | GD61050 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | ER103:000:00 |
| | 転送先デバイス | GD61040 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD61019. b0 |
| | オフセット | なし |

ID : 204 データ転送 4

| 項 目 | | 設 定 |
|--------------|---|--------------|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD61021 |
| | トリガデバイス | GD61021. b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD61021. b1 |
| 外部通知情報 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部通知 デバイス | GD61022 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD61022. b0 |
| | BCD 変換エラー通知信号 | GD61022. b14 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD61022. b15 |
| デバイス | ブロック数 | 3 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 20 |
| | 転送元デバイス | ER104:000:0A |
| | 転送先デバイス | GD61050 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号なし BIN32 |
| | 点数 | 1 |

| 項 目 | | 設 定 |
|--------|---------|--------------|
| ブロック 2 | 転送元デバイス | ER104:000:00 |
| | 転送先デバイス | GD61040 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD61021.b0 |
| | オフセット | なし |

5.7 スクリプト一覧

| 項目 | 設定 |
|-------------|-------------------------|
| プロジェクトスクリプト | 有り |
| 画面スクリプト | B-30002～B-30008、W-30002 |
| オブジェクトスクリプト | B-30008、W-30003 |

5.7.1 プロジェクトスクリプト

| | | | |
|--|------------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30000 | スクリプト名 | Script30000 |
| コメント | 初期設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| [w:GD61000] = 1; //プログラム No. [w:GD61010] = 1; //軸ステータス用モニタ軸 [w:GD61355] = 1; //アラーム詳細表示行 [u32:PD1] = 1; //開始ポイント No. [w:GD60080]=1; //ベース画面 30500 のドキュメントページNo.を 1 に設定 [w:GD60081]=1; //ベース画面 30501 のドキュメントページNo.を 1 に設定 [w:GD60082]=1; //ベース画面 30502 のドキュメントページNo.を 1 に設定 | | | |
| スクリプト No. | 30103 | スクリプト名 | Script30103 |
| コメント | スーパーインポーズウィンドウ消去 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| //特定画面以外ではスーパーインポーズウィンドウを消去する。 switch([w:GD60000]){ case 30004: break; case 30005: break; case 30006: break; case 30008: break; default: [w:GD60016] = 0; break; } | | | |

5.7.2 画面スクリプト

ベース画面 30002

| | | | |
|---|------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30100 | スクリプト名 | Script30100 |
| コメント | オフセット処理 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| //オフセット処理 [w:GD61001] = ([w:GD61000] - 1) * 4; //プログラム No. からオフセット値を算出 | | | |

ベース画面 30003

| | | | |
|--|------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30101 | スクリプト名 | Script30101 |
| コメント | モニタ制御 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| //対象モニタ軸のステータス用オフセットデバイスを設定 [w:GD61011] = ([w:GD61010] - 1) * 6; //軸エラーの制御 [w:GD61012] = ([w:GD61010] - 1) * 2; if([b:GD61016.b0[w:GD61012]] == OFF) { //デバイスデータ転送が処理中ではない時 [w:GD61015.b0[w:GD61012]] = ON; //モニタ対象軸のデバイスデータ転送トリガを ON する。 } //現在位置の制御 [w:GD61045] = [w:AXST04[w:GD61011]]; [w:GD61046] = [w:AXST05[w:GD61011]]; | | | |

ベース画面 30004、30005、30006、30008

| | | | |
|--|--------------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30102 | スクリプト名 | Script30102 |
| コメント | スーパーインポーズウィンドウ読み出し | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //特定画面に遷移した場合、スーパーインポーズウィンドウを表示する。 switch([w:GD60000]) { case 30004: [w:GD60016] = 30010; break; case 30005: [w:GD60016] = 30018; break; case 30006: [w:GD60016] = 30025; break; case 30008: [w:GD60016] = 30030; [w:GD61200] = 1; break; default: [w:GD60016] = 0; break; } | | | |

ベース画面 30007

| | | | |
|---|-----------------|--------|--------------|
| スクリプト No. | 30104 | スクリプト名 | Script30104 |
| コメント | PD 読出し | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB61150 |
| [u32:GD61100] = 0; //内部デバイスを 0 でクリア fmov([u32:GD61100], [u32:PD03], 156); //PD エリアをクリア [u32:PD02] = 12; //ポイントデータ数を設定 [u32:PD00] = 2; //読出しのコマンドトリガを実行 [b:GB61153] = ON; [b:GB61150] = OFF; | | | |
| スクリプト No. | 30105 | スクリプト名 | Script30105 |
| コメント | 画面切り換え時 PD 再読出し | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| [u32:GD61100] = 0; //内部デバイスを 0 でクリア fmov([u32:GD61100], [u32:PD03], 156); //PD エリアをクリア [u32:PD02] = 12; //ポイントデータ数を設定 [u32:PD00] = 2; //読出しのコマンドトリガを実行 [b:GB61153] = ON; | | | |
| スクリプト No. | 30107 | スクリプト名 | Script30107 |
| コメント | 軸パターン設定 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB61153 |
| //軸パターン制御 [u32:PD04] = 0x000F; [u32:PD11] = 0x000F; [u32:PD1E] = 0x000F; [u32:PD2B] = 0x000F; [u32:PD38] = 0x000F; [u32:PD45] = 0x000F; [u32:PD52] = 0x000F; [u32:PD5F] = 0x000F; [u32:PD6C] = 0x000F; [u32:PD79] = 0x000F; [u32:PD86] = 0x000F; [u32:PD93] = 0x000F; [b:GB61153] = OFF; | | | |

ベース画面 30008

| | | | |
|---|---------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30109 | スクリプト名 | Script30109 |
| コメント | サーボ ON/OFF 状態 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| //軸ステータスからサーボの ON/OFF 状態をモニタする。 [w:GD61205] = [w:AXST00]; [w:GD61206] = [w:AXST06]; [w:GD61207] = [w:AXST0C]; [w:GD61208] = [w:AXST12]; | | | |

ウィンドウ画面 30002

| | | | |
|--|------------------|--------|-------------|
| スクリプト No. | 30002 | スクリプト名 | Script30002 |
| コメント | マニュアル表示画面の言語切り換え | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |
| <pre> if (([w:GD60000] >= 30500) && ([w:GD60000] <= 30502)) { //ベース画面切り換えデバイス値が 30500～30502 の場合 if ([w:GD60021] == 1) { //言語が言語 1 の場合 [w:GD60000] = 30500; //マニュアル表示-言語 1 画面に遷移 } if ([w:GD60021] == 2) { //言語が言語 2 の場合 [w:GD60000] = 30501; //マニュアル表示-言語 2 画面に遷移 } if ([w:GD60021] == 3) { //言語が言語 3 の場合 [w:GD60000] = 30502; //マニュアル表示-言語 3 画面に遷移 } } </pre> | | | |

5.7.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30008

| | | | |
|--|------------|-------|-------------|
| オブジェクト(名称) | 数値入力 | | |
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB61250 |
| //画面切り換え [w:GD60016] = 30030 + ([w:GD61200] - 1); [b:GB61250] = OFF; | | | |

ウィンドウ画面 30003

| | | | |
|--|------------|-------|----------|
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_年) | | |
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| //時計データより本日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000; //設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12; //桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10; //BCD->BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00; //設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8; //BCD->BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961]; //TMP973 に年を BIN でセット [w:GD63990] = [w:TMP973]; //年をセット [w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0; //設定用時計データより月の 10 の位を取得 [w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4; //桁合せ [w:TMP969] = [w:TMP962] * 10; //BCD->BIN [w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F; //設定用時計データより月の 1 の位を取得 [w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953]; //TMP974 に月を BIN でセット [w:GD63991] = [w:TMP974]; //月をセット [w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000; //設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12; //桁合せ [w:TMP970] = [w:TMP963] * 10; //BCD->BIN [w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00; //設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8; //BCD->BIN [w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; //TMP975 に日を BIN でセット [w:GD63992] = [w:TMP975]; //日をセット [w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0; //設定用時計データより時の 10 の位を取得 [w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4; //桁合せ [w:TMP971] = [w:TMP965] * 10; //BCD->BIN [w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F; //設定用時計データより時の 1 の位を取得 [w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; //TMP976 に時を BIN でセット [w:GD63993] = [w:TMP976]; //時をセット [w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000; //設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12; //桁合せ [w:TMP972] = [w:TMP966] * 10; //BCD->BIN [w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00; //設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8; //BCD->BIN [w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; //TMP977 に分を BIN でセット [w:GD63994] = [w:TMP977]; //分をセット [w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0; //設定用時計データより秒の 10 の位を取得 [w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4; //桁合せ [w:TMP996] = [w:TMP995] * 10; //BCD->BIN | | | |

| | | | |
|---|------------|-------|----|
| [w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F; // 設定用時計データより秒の1の位を取得 [w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994]; // TMP978に秒をBINでセット [w:GD63995] = [w:TMP978]; // 秒をセット | | | |
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_月) | | |
| スクリプトユーザ ID | 2 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| // BIN -> BCD 変換 [w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下2桁 [w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN -> BCD [w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN -> BCD [w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN -> BCD [w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN -> BCD [w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN -> BCD [w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN -> BCD | | | |
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_日) | | |
| スクリプトユーザ ID | 3 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| // 年月設定 [w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット | | | |
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_時) | | |
| スクリプトユーザ ID | 4 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| // 日時設定 [w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット | | | |
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_分) | | |
| スクリプトユーザ ID | 5 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| // 分秒設定 [w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット | | | |
| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_秒) | | |
| スクリプトユーザ ID | 6 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| // 曜日設定 [w:TMP986] = [w:GD63990]; // 年 (BIN) [w:TMP987] = [w:GD63991]; // 月 (BIN) [w:TMP988] = [w:GD63992]; // 日 (BIN) if (([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2)) { // 1・2月の場合のみ前年の13・14月として計算するための補正処理 [w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; // 年から1を減算 [w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; // 月に12を加算 } [w:TMP989] = [w:TMP986] / 4; // ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP990] = [w:TMP986] / 100; // ツェラーの公式に必要な項を作成 | | | |

[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成

[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット

[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;

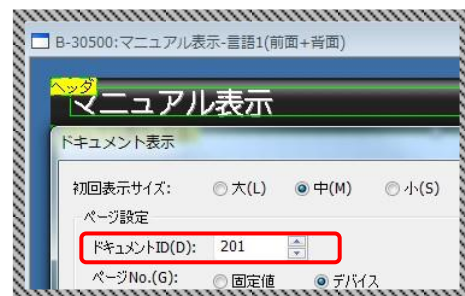
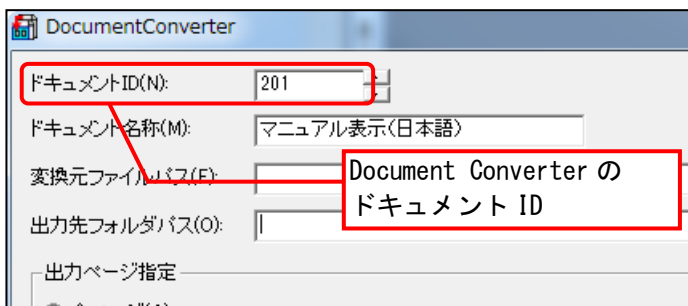
6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。なお、ドキュメント表示機能は、言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では、言語切り換え時に選択した言語のドキュメント(ドキュメント ID)を設定したベース画面を切り換え表示することで言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

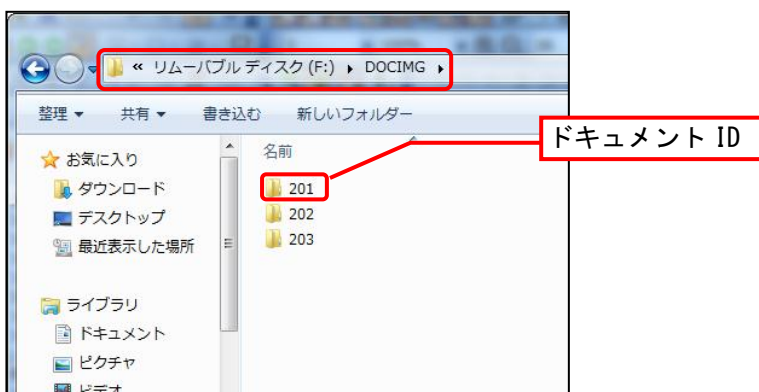
例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示-言語1にマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

- (1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。この際、Document Converter の[ドキュメント ID]には、ベース画面 B-30500 のドキュメント表示の[ドキュメント ID]と同じ値を設定します。



例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示-言語1のドキュメント表示のドキュメント ID

- (2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。

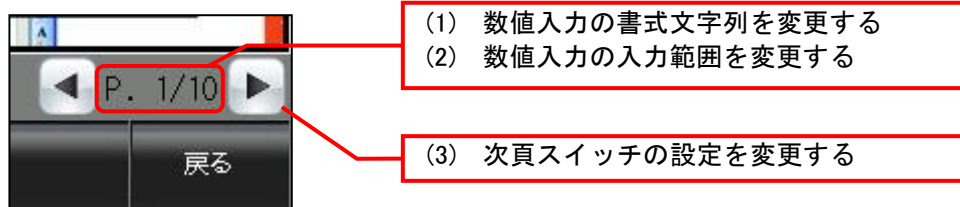


SD カードのフォルダ構成

6.2 ドキュメントの総ページ数の変更

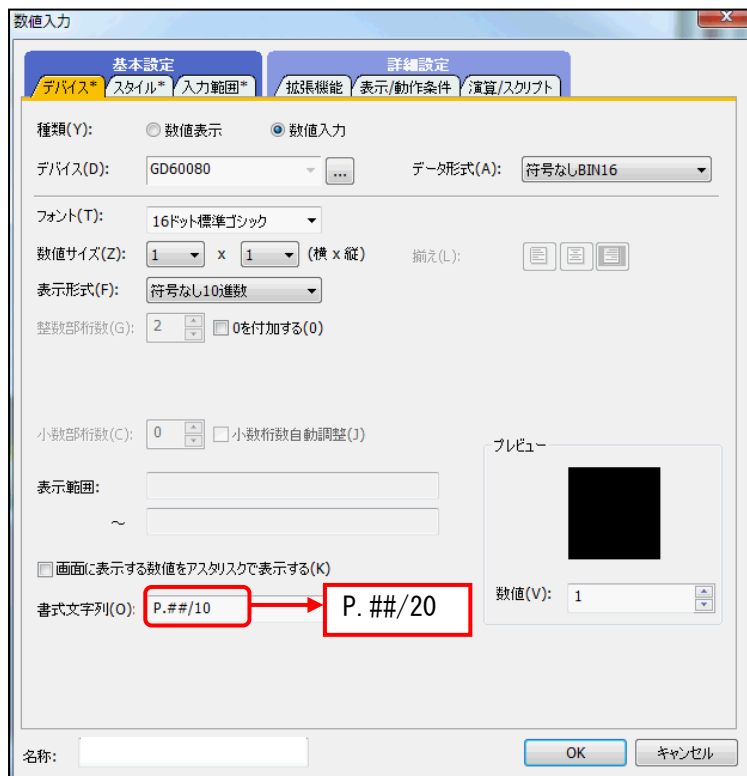
表示するドキュメントの総ページ数に合わせて、画面右下に表示する総ページ数を変更してください。

例：ドキュメント総数を 10 ページから 20 ページに変更する場合



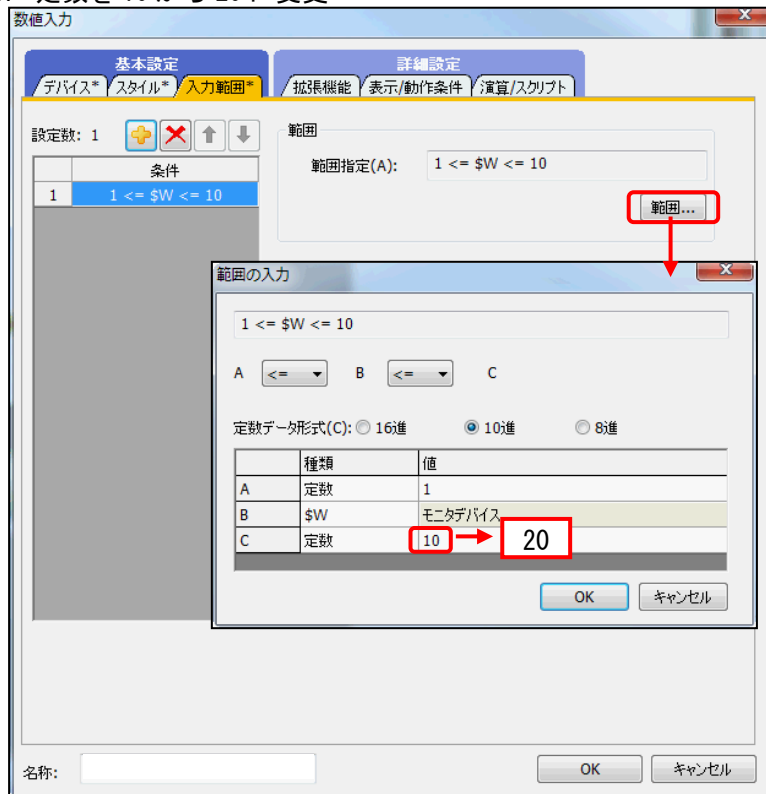
(1) 数値入力の書式を変更する。

1. 数値入力をダブルクリックし、ダイアログボックスの[デバイス]タブを表示
2. [書式文字列]を「P. ##/10」から「P. ##/20」に変更



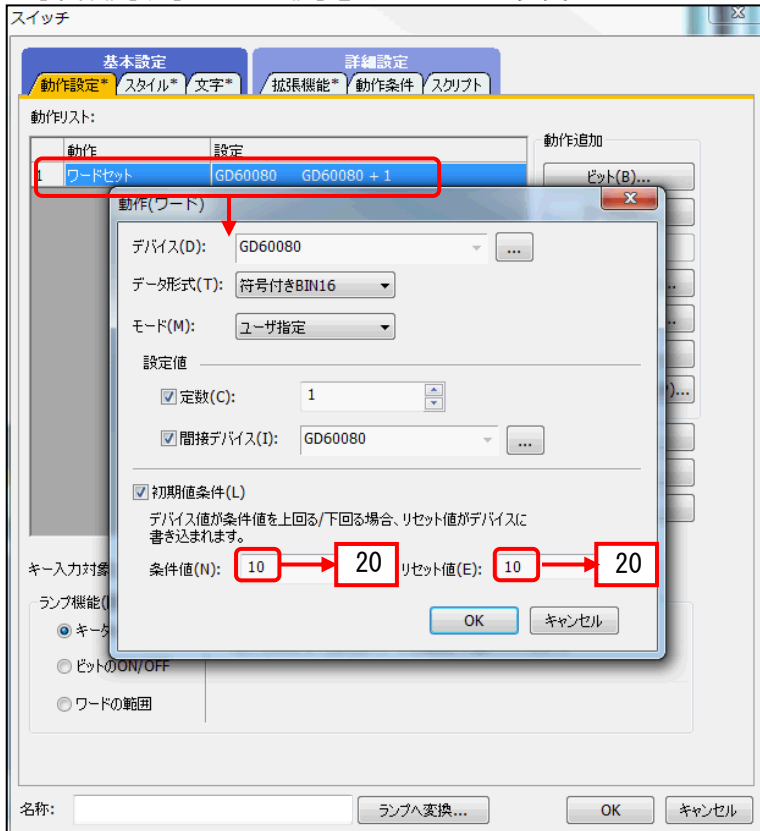
(2) 数値入力の入力範囲を変更する。

1. ダイアログボックスの[入力範囲]タブを表示
2. [範囲]をクリックし、[範囲の入力]ダイアログボックスを表示
3. 定数を 10 から 20 に変更



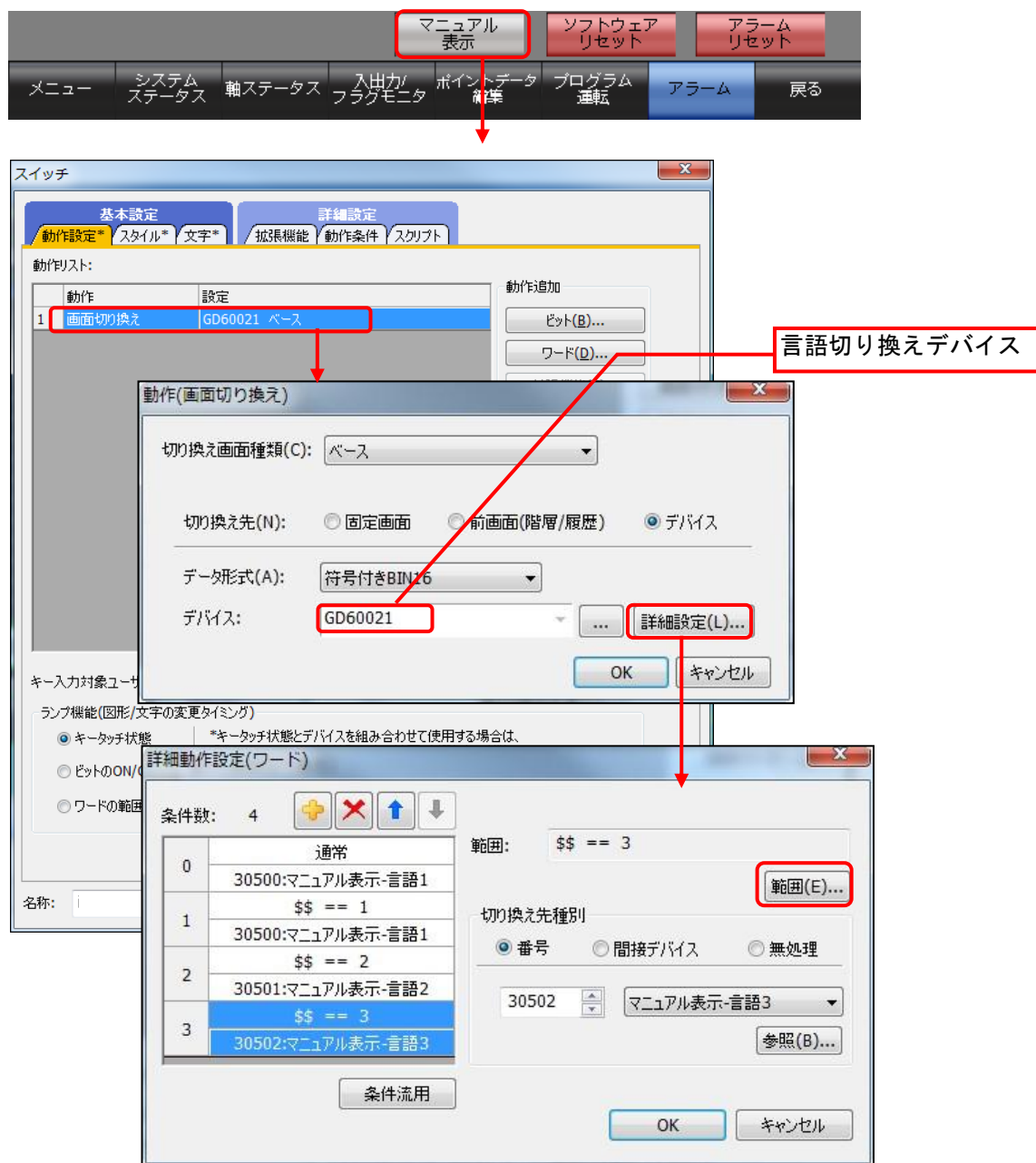
(3) 次頁スイッチの設定を変更する

1. ダイアログボックスの[動作設定]タブを表示
2. [動作 1]をダブルクリックし、[動作(ワード)]ダイアログボックスを表示
3. [条件値]、[リセット値]を 10 から 20 に変更



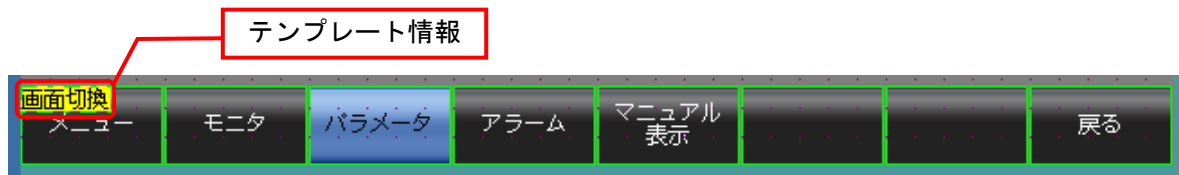
6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定

「マニュアル表示」スイッチは、言語切り換えデバイスに格納された列 No. によって表示するマニュアル画面を指定しています。列 No. の詳細については、「5.1 表示言語」を参照してください。



7. テンプレート

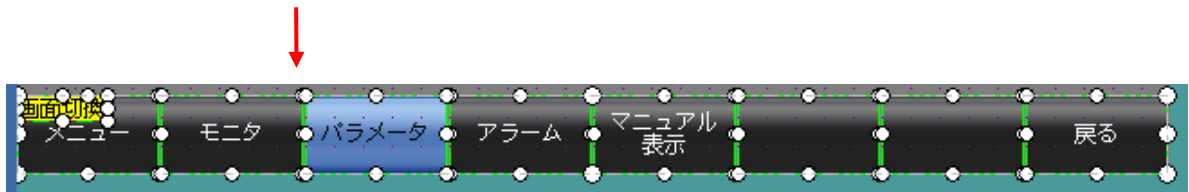
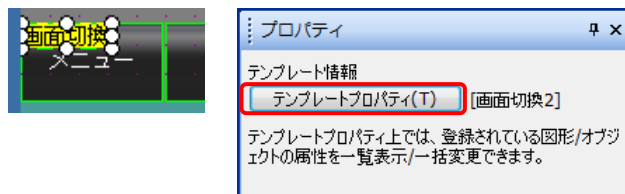
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

例：スイッチ(各画面)の図形色を変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]をダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [スイッチ(各画面)_図形色]の[設定値]をクリックして、変更したい色を選択

